

あなたには今、プリンシプル（原理・原則・主義・主張）がありますか？主義・主張は原理・原則があるから主義・主張ができます。あなたにはプリンシプルがあるでしょうか？例えばあなたは今自分が好きですか？好きだと断言できますか？「好きだと思う」ではだめなのです。「自信」とは自分の能力・価値・信念などを確信していることをいいます。これが確立されていれば問題はありますが、自信も的を外すと私達の人生も的を外したのようになってしまいます。しかし、自信を持つことが最終的な目的ではありません。世の中の人たちはこれを得ようとしてやりますが、神を信じている私たちは、結果これを得られるはずなのです。自信を持たない一番の原因は自分のことが嫌いだからです。自分の信念をもっている人は自分を愛しています。バロメーターは自分を愛しているかどうかです。それが自信につながります。自分を愛することがいかに大切か聖書の中に書かれています。（マタイ22:36～39）神からの第一の命令は神を愛することそして自分自身のごとく隣人を愛することです。もし今、自分を愛せていないのなら、隣人も愛せていない可能性が高いのです。なぜなら自分が愛せていないと自分以上に周りの人は愛せないからです。イエス様の十字架は私達に自分を愛する事を伝えるためでもありました。私たちは父母から育てられる中で、自信を持ったり少なからず傷を受けたりしてきました。だからこそ親から離れて神にもう一度結びつけられその愛を受け取ることが大切なのです。過去の傷を癒されたら新しい記憶を植え付けて下さい。愛されたと知って下さい。「あなたにしかできないことがある」あなた自身の信念をもってください。あなた自身を愛し、その愛をもって隣人を愛して下さい。自分を大切にしましょう。自信を無くすと自分を大切にできなくなります。自分がしようと思うことができずいたり、失敗したりすると自身を持ってなくなります。主からの自信（神信）を持つことが大切なのです。自信（神信）をもって歩むために、①**神に良心を合わせる**。今神の良心に自分の思いが合っているでしょうか。一致していないと自信が持てません。しかし、神がせよと言うことが出来ていれば他人に何を言われても揺るぎません。他人から何を言われても正しいことなんだと胸を張って言える準備ができていでしょうか。出来ていないと結果自分が傷つくこととなります。傷つくのでは自分を大切にすることになりません。自分のやっていることに神からのお墨付きをもらってください。だから「あなたのしようとするを主にゆだねよ。」（箴言16:3)なのです。自分が良い事をしようとする時あなたが良いことをしようとする時神の思いと合わせていることが自信につながります。神にこうすると決めたらゆるがないでください。（Iヨハネ）右往左往する人生は今日で終わりです。主と共に信念を持ちましょう。主はとこしえに変わりません。惑わされないで下さい。②**あなたにしかできない事を知る**。「自分にはできない」なんて言わないで下さい。私達を創った方に失礼です。あなたはもっとすばらしい、もっとできると自信を持って下さい。（エレミヤ29）あなたには意味があるのです。「あなたにしかできない事がある」それを知りましょう。③**全ては神に**（マタイ25:32～46）この箇所はこの世の終わりの時にあなたがどうするかのとえです。あなたは羊ですか？山羊ですか？あなたのすることは全てが神につながります。あなたのしていることに答えや手柄を求めているでしょうか？本当にその人の為に良いことができていでしょうか。自分の事のように隣人を愛せていでしょうか、確認しましょう。「愛する」とは自己満足ではなく心からその人のためにできているでしょうか。「自分ばかり」になっているのなら注意しなければなりません。人から言われてやるのではなく神とあなたが決断して行って下さい。そうでないと神からのメッセージさえも命令になってしまいます。あなたのためにしているではありません。全ては神のためなのです。今日受け取りましょう。神は言われます。「あなたは大切な存在なのだ」と。